

令和2年8月17日

リチウムイオン電池からの火災にご注意を！

近年、電気が原因となる火災が全国的に増加しており(当事務組合統計:H29年12件、H30年・R元年7件ずつ)、そのひとつとして、リチウムイオン電池による火災が発生しています。安価で便利な電池ですが、あなたの身の回りに数多くの火災危険が潜んでいます。

◆事例1

ネット通販で購入した海外製の工具用リチウムイオンバッテリー(非純正品)を充電していたところ、液漏れが発生し、直後に火花が発生し破裂、建物の一部が焼損した。



出火原因

非純正品の充電を制御する機能(安全装置)が純正品に比べ劣っており、過充電により出火した。

◆事例2

リュックの中に入れていた携帯電話の充電式リチウムイオン電池が「バン」という音を立て煙と火花が発生し、リュックの中身が焼損した。



製品評価技術基盤機構(nite)より

安くて便利な海外製品だけど、安全性は大丈夫なのかな？
安いなりの理由があるのかも。安全な商品を選んで使ってね！



当事務組合マスコットキャラクター あおしょうくん

○類似火災防止のために・・・

- (1) 純正品以外のバッテリーは、充電中に制御機能が正常に働かず発火する恐れがあります。購入する際は、バッテリー事業者のホームページ等で充電器に適合するかなど安全性について確認をしましょう。また、取扱い説明書の注意事項をしっかりと守って使用しましょう。
- (2) バッテリーが膨張、発熱、液漏れなどの異状を感じたら使用をやめる。
- (3) 電池を廃棄する場合は、各自治体のルールに従って廃棄する。
- (4) 海外製品は相談窓口がなく、十分な補償がされない可能性があります。
- (5) リチウムイオンバッテリーは、落下させるなどの衝撃で発火する危険性もあります。

住宅用火災警報器の設置はお済ですか？
月1点検・10年が交換の目安です。
全国統一防火標語
『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』



【問い合わせ先】
青森地域広域事務組合
消防本部予防課
Tel 017-775-0853